

## 地域ニーズの把握と事業化

社会福祉法人 明光会

住所／TEL	三重県津市美杉町八知729-1 / 059-272-8800	
URL／E-mail	http://www.za.ztv.ne.jp/emi-care/indexA.htm / hiyoco420227@gmail.com	
経営理念	明光会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者自身の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、社会福祉事業を行う。	
事業内容	特別養護老人ホーム（50名）1か所 短期入所生活介護（20名）1か所 通所介護（15名）1か所	
収入 (法人全体) 平成23年度決算	①社会福祉事業 ②公益事業 ③収益事業 合計	285,718,563円 0円 0円 285,718,563円
従業員数 (法人全体)	64名（非常勤含む）	
当面する経営課題	①「経営圧迫」 利用者の介護重度化により、介護サービス量の増（人員増）による人件比率の増→きめ細かなサービス提供を進める中で、やむを得ない事態と考えるが、「サービスの質」の標準に個別性があり、その標準化に費やす監査指導項目の整備や職員教育にかかるウエイトも大きい。 ②「人材確保困難」 社会全体の課題でもあるが、当法人の立地が過疎地域にあるため、社会福祉・医療従事者を志望する方の絶対数が少なく、専門教育を受けた方及び専門資格を有す方の確保が極めて難しい状況下にある。 ③「地域福祉・地域福祉活動推進機関との連携不十分」 美杉町の高齢化は51% 町内旧村単位では61%に至っている。限界集落、買物難民、医療受診、生活・介護支援、防災・減災等々、町をどのように「舵取り」するのか、住民参加の組織化等積み上げてこれたのか、形あるものにするのが急務である。	

<p>発表する取組みに着手した理由、背景</p>	<p>①平成14年7月から取り組み始めた「ほんまもん地域福祉生活支援活動」が10年を経過しました。ニーズ調査に基づき平成17年5月に発足した「友交会」は7年目を経過し、活動は定着化しています。現在会員は40名となりました。</p> <p>しかし、当面する（経営）課題に記したよう、即ち「地域福祉課題」と解されるところであり、介護保険制度施行から経過した今、社会福祉法人、とりわけ高齢者福祉分野に於いては「特別養護老人ホーム」からの情報発信が弱かったことを反省し、平成21年11月、改めて活動の意義を記した町内全戸へのパンフレットを配付【(独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業)】し地域福祉の再構築をめざした取組みを進めています。</p>
<p>発表する取組みの現時点での効果</p>	<p>①会員数が18名から40名に増加</p> <p>②地域福祉への関心が高まり、出前トークの依頼増</p> <p>③夏祭り、地域福祉フォーラムへの参加協力者増</p> <p>※町の方の関心が高まることで、地域福祉課題の解決に向けた参加意識が高まりつつあるが、「地域福祉・地域福祉活動推進機関と町の方々との連携をどのように図るかが」これからの課題となる。</p> <p>※ふれあいのまちづくり事業（平成8年改正）を地域福祉活動の典型として、社協に限らず、大小を問わず、その地域の主要な社会福祉法人が取り組むべきものとなるようその声を上げ続けたいと思います。</p>